

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（4月定例会）会議録
開催日時	平成27年4月20日（月）14時00分から16時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、内田副議長、川崎委員、木下委員、操野委員、沼本委員、服部委員、原委員、森田委員、矢野委員、山田委員 事務局：岡本課長、吉田係長、神田主査
議題	(1) 今後の活動について (2) 報告 その他 ①文化財保存・活用計画策定委員会委員の選出について ②市民会館・中央図書館・田無公民館合築複合化整備について ③都市社連協総会（4/18）の報告 ④委員からの活動報告
配布資料	資料1 社会教育委員の会議活動予定（平成27年4月～平成28年6月）案 資料2 「広報西東京（27.4.15号）」抜粋 ○社会教育委員研修会 「社会教育の可能性－社会の現状とその対応に向けて－」レジメ・資料 ○平成27年度定期総会議案書（東京都市町村社会教育委員連絡協議会） ○西東京市図書館だより第57号 ○東京の文化財 第119号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○平成27年3月定例会議の会議録を1か所訂正後、承認する。</p> <p>※事務局よりの報告</p> <p>○社会教育課の人異動について ・4/1付で社会教育課長に岡本課長が着任した。</p> <p>○組織改正について ・5/1付で配布資料3「広報西東京（27.4.15号）抜粋」のとおり、組織改正が予定されている。 ・下野谷遺跡国指定史跡に伴い、文化財係が設置され、社会教育係と文化財係の2係になる。委員の皆さんから頂いた提言の学芸員の配置をとというご意見を受け、現在市報で学芸員の公募をしている。今後も、提言を活かした取り組みが出来るよう努めていきたい。</p> <p>【主な意見・質疑応答】</p> <p>○委員：5月1日から地域連携係が無くなり、地域連携が担っていた事務が、社会教育係に移されるということか。</p> <p>○事務局：社会教育係に地域連携係の事務内容が、含まれるということである。</p>	

- 委員：これまでの会議の中で、社会教育課と公民館、図書館の連携について検討したが、その関係はどうなったのか。
- 委員：これまでの会議の中で話し合った課題解決に向けては、公民館や図書館の方々に協力をしていただくためにも、連携を進めていくことが大事ではないか。
- 委員：社会教育課と公民館と図書館の連携に向けた組織体制の整えは、提言通りにならなかったようだが、その中で、公民館、図書館と連携をどう図っていくのか、お考えがあれば話していただきたい。
- 事務局：今後、公民館、図書館と連携を図って進めていきたいと考えている。皆様のお知恵もお借りしたい。

(1) 今後の活動について

※配布資料1「社会教育委員の会議活動予定（平成27年4月～平成28年6月）案」に沿って事務局より説明。

- ・今年度は、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の会長市としての活動が主になる。
- ・現時点では、教育委員会からの検討依頼事項はない。

○議長：東京都市町村社会教育委員連絡協議会の会長市として事業がかなりありますが、現時点では提言依頼などはないようなので、どういった活動をしていくか自由に考えていただけたらと思う。次回までに、これからやっていきたいこと、学習会や見学会、図書館や公民館の現状を知りたい等、アイデアを出していただきたいと思う。次回また、今後の活動について意見交換をしていきたい。

(2) 報告 その他

①文化財保存・活用計画策定委員の選出について

※事務局より、文化財保存・活用計画策定委員会の設置及び委員の推薦依頼について説明。

- ・平成25年度に文化財保護審議会より「西東京市における文化財保護の在り方」という建議が提出された。市内の多くの文化財が年々失われていく現状を受けて、文化財保護行政の構想、方向性について一定程度定め、それを基に保護施策、事業、整備をするべきという建議内容を踏まえ、文化財保存・活用計画の策定に着手する事とした。
- ・本年度、有識者、学識者、公募の市民からなる策定委員会を設置して計画を策定する。この委員に、社会教育委員から1名ご参加を頂き、ご意見等をいただきたい。

決定 矢野委員を社会教育委員の会議から推薦する。

②市民会館・中央図書館・田無公民館合築複合化整備について

○事務局：3月に情報提供しました行財政改革推進委員会からの提言書及び施政方針にあげられた合築複合化整備について、所管の文化振興課で今後の進め方について検討中である。内容がわかり次第、その都度ご報告したい。

○委員：3月の社会教育委員の会議で配布された行財政改革推進委員会からの提言書に、社会教育施設の総量抑制という方針が出ている。こういった動きも見ながら、会議での議論を進めていく必要が有ると思う。はっきりした市の方針が出ているのであれば、それをベースに検討していかないといけないのではないかと思います。

- 委員：図書館についていうと、西東京市の図書館は総面積が5,000㎡ほどで多摩地区でも下から3番目の狭さである。合併し、田無駅前の図書館が中央図書館になったが、機能的には十分には果たせていないと、図書館協議会でも検討されていた。総量抑制という方向で総面積が減らされれば、本を廃棄してなくてはならないという話にもなっていくのではないかと。図書館、公民館は市民のものなので、私たちは、どういう形にしていくのか市民と共に考えていきたいと思う。
- 委員：地域の方が知らないうちに決まっているのではないかと不安を覚える。庁舎統合方針（案）の説明会もあるようだが、私たちも市民として、社会教育施設がどうなるのか話を聞くことも大切だろう。市民会館は有料で、公民館・図書館は無料、また管理運営のあり方も公民館・図書館と市民会館とは違っており、市民会館が、中心となって進めるとなると、図書館、公民館のあり方についてどう検討されるのか気がかりである。
- 委員：今回の合築の担当課が、文化振興課というのも個人的には疑問を感じている。社会教育委員として、関係ないとはいえないと思う。
- 委員：今回の合築の件は、庁舎の建て替え問題の影響を受けているように思う。田無庁舎のまわりにある図書館と公民館に保谷庁舎の機能を移すということで、図書館や公民館がどうあるべきとか、施設配置をどうするというで動いたわけではないのではないかと。本来は、地域の利用者への話が先にあるべきではなかったのかとも思った。
- 事務局：中央図書館、田無公民館と一緒に合わせて市民会館の場所での合築となるため、市民会館を所管している文化振興課が、担当課となっている。中央図書館も田無公民館もそれぞれ運営審議会があるので、ていねいに説明をしていくと聞いている。社会教育課は、施設は持たないが、昨年 の提言も受け、社会教育委員の皆さんには、情報提供し、頂いたご意見については、担当課に伝えていきたいと考えている。また、社会教育施設の総量抑制という話だが、これは社会教育施設に限ったことではなく、公共施設全体のスリム化の検討であり、このことは合併の時から始まっている。合併により、それぞれの市の施設を整理することによって行政をスリム化し、今後新たに発生する行政課題に対応していきたいという方向性である。
- 委員：市の状況はわかるが、公共施設全体のスリム化が、社会教育施設の役割機能の低下に結びつかないようにしなければいけないと思う。そこをどうするかが一番の問題ではないかと思う。
- 委員：施設をスリム化という方向性があり、行政運営もそういった流れになっている。その中で、公民館、図書館がうまく機能出来るよう、また、市の全体方針の中で、一層活躍できるあり方を考えることが大切ではないか。
- 委員：市民が活用している社会教育施設については、公民館、図書館だけの問題ではなく、社会教育委員の中でももっと話をしなければいけないのではないかと思う。
- 委員：今まで行財政改革の動きに関してあまり話していなかったが、具体的な動きが出された今、何が出来るか考えていければと思う。
- 委員：公民館や図書館はやはり人が集まる公共施設ということなので、耐震化についても考えていかなければいけないと思う。
- 議長：今後も引き続き、合築に向けての動きには注目をしていきたいと思う。

③都市社連協総会（4/20）の報告

※参加した委員より感想

- 委員：講師の先生の話はわかりやすかった。リーダーになった人は、次にリーダーになる

人を育てることを念頭に置いて活動することが必要だろう。そうしないとその人がやめてしまうと組織の継続性が無くなる。西東京市での循環型社会の課題も、次のリーダーを育てることだろう。その視点が、社会教育では、大事な課題であると思う。もうひとつは、地域の小学校でやっていた活動が、地域の中学校まで繋がって発展していかなければいけないと思う。この連続性も西東京のテーマである循環型社会につながるのではないか。

- 委員：西東京市のどの学校にも学校連絡協議会と学校評価協議会がある。学校と地域をつなぐ流れを整理して仕組みを作り、それをベースにして地域の活動にしていくことが必要だと感じた。講師の方の話は参考にしたいと思った。
- 委員：講師の方は、27年度の社連協のテーマを見て、学校と地域が循環するととらえられていたようだ。我々の循環型の考え方は、学んだものが次の世代なり地域に新しい核となって伝わり、地域の教育力アップをするというイメージだったように思う。次の世代を育てていかないと、その世代が地域にでていってもうまくいかないうだろう。循環型ということだけを聞けばいろんな解釈があるので、われわれのテーマのメッセージをきちんと伝えていかなければいけないと感じた。また、地域と家庭と、学校と家庭の連携は難しさがあると思うが、社会教育に家庭どう巻き込んでいくのか、アイデアが聞けなかった点は残念だった。
- 委員：家庭教育については、なかなか踏み入ることが出来ないというお話だったが、家庭教育が一番の元なので、家庭を巻き込んだ学校や地域の教育活動を考えないといけないだろう。積極的に参加していける人だけがつながっていくのも良いが、それだけだと弱い家庭がどんどん落ちてしまう。広く家庭教育を地域に繋げ、学校に繋げることが大切だと思う。
- 委員：先生の中では、組織を作って、学校と協力していくということだろうが、家庭教育との連携を進めるためには、PTAとの連携が大切だと思う。学校の中でもPTAの活動が重要視されていると思う。
- 委員：今までの総会では講演会のようなものはなかったが、今回は講演があり良かったと思う。今後も総会だけではなく講演があるとよいと感じた。
- 委員：今回、参加者が、少なかったように思う。今までのような総会で終わるだけだと参加者も少なくなるだろう。今後のために今回のような研修を続けたら良いと思う。
- 議長：総会の時に研修の機会をとすることは役員会でも言ってきたことで、今回実現できて良かったと思う。今後も総会の後に研修を行いたいと思う。

④委員からの活動報告

※配布資料「東小・学校施設開放運営協議会と実施事業について」に沿って、矢野委員から報告

※次回会議 平成27年5月18日（月）午後2時